



平成 30 年 5 月 31 日
事 務 連 絡

各都道府県衛生主管部（局）御中

厚 生 労 働 省
医 政 局 医 事 課
政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室

平成 30 年度版 死亡診断書（死体検案書）記入マニュアルについて

死亡診断書（死体検案書）の記入につきましては、日頃から特段の御配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

厚生労働省においては、医師・歯科医師が、死亡診断書（死体検案書）を記入する際の参考にしていただくために、毎年「死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル」を策定しております。今般、平成 30 年度版マニュアルを以下の URL に公開いたしましたのでお知らせ致します。

http://www.mhlw.go.jp/toukei/manual/dl/manual_h30.pdf

また、「平成 30 年度版マニュアルにおける主な変更点」を別紙に示しましたので、御了知の上、貴管下保健所、保健所設置市（特別区を含む。）、関係機関等に対して周知願います。

なお、添付のとおり、本事務連絡の写しを別記関係団体宛て送付することを申し添えます。

平成30年度版マニュアルにおける主な変更点

※ 頁数は、平成30年度「死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル」における頁数を示す。

◆ 2頁・7頁

- 介護医療院の創設に伴い、死亡診断書（死体検案書）の様式が改訂されたこと。
- 「死亡したところの種別」欄で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合には、「施設の名称」欄で括弧内に「介護医療院」「介護老人保健施設」の別を記載すること。

◆ 9頁

- 死亡の原因のⅠ欄に「不詳」や「不詳の内因死」などと記載する場合には、死因の種類として「12 不詳の死」を選択すること。

◆ 10頁

- 手術又は解剖にて明らかになった診断名や部位についても、死亡の原因のⅠ欄、Ⅱ欄の記載内容に反映させること。

(別記団体)

公益社団法人日本医師会
公益社団法人日本歯科医師会
公益社団法人日本看護協会
一般社団法人全国訪問看護事業協会
一般社団法人日本病院会
公益社団法人全日本病院協会
一般社団法人日本医療法人協会
公益社団法人日本精神科病院協会
公益社団法人全国自治体病院協議会
一般社団法人全国医学部長病院長会議
一般社団法人国立大学附属病院長会議
一般社団法人日本私立医科大学協会
一般社団法人全国公私病院連盟
一般社団法人日本慢性期医療協会
社会福祉法人恩賜財団済生会
日本赤十字社
国家公務員共済組合連合会
全国厚生農業協同組合連合会
社会福祉法人北海道社会事業協会
独立行政法人国立病院機構
独立行政法人労働者健康安全機構
独立行政法人地域医療機能推進機構
国立研究開発法人国立がん研究センター
国立研究開発法人国立循環器病研究センター
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
国立研究開発法人国立国際医療研究センター
国立研究開発法人国立成育医療研究センター
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
日本医学会
公益財団法人 日本訪問看護財団
公益社団法人全国老人保健施設協会
一般社団法人 日本看護系学会協議会